



目次

看護部だより	1~2
医療安全管理室より	2
職場紹介「療育指導室」	3
ア・ラ・カルト「関節鏡について」	4
お国自慢	5
お知らせ「防災訓練」「えびす講まつり」「新任医師の紹介」	6
患者数	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内・看護職員採用について	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hospital.jp/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp
携帯サイト用QRコード



甲府駅南口のイルミネーションが点灯しました。光のタワーと街路樹に設置された無数の電飾が夜の街を明るく輝かせています。今年の甲府市は、鳥もつ煮のB-1グランプリ優勝、ヴァンフォーレ甲府のJ1昇格と明るい話題の多い1年でした。来年も明るい話題が多いことを期待します。(編集部一同)



独立行政法人国立病院機構
甲府病院の理念

理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします

病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

看護部だより

今年度は23名の新卒者を迎え、看護部として集合教育と、臨床での現場教育を行ってきました。一人の職業人としての成長、看護師としての成長がありました。今回は9ヶ月を振り返りこれらに向けての思いを8名に語ってもらいました。



これからの目標

2病棟 中島 緑

2病棟GCU(新生児集中治療室)に配属になり9ヶ月が経ちました。就職した頃比べ病棟の雰囲気や仕事にも慣れ、行える事が増えてきました。日常業務を覚えたり、入院児の疾患や児の特徴について学びを深めるなど、自分が成長できた9ヶ月でした。

児との関わりは容易なことではなく、早産児・体重に感じ快適な環境づくりや、ストレスの要因となる光・音刺激を最小限にすることの重要性を理解することができました。しかし、児の両親との関わりでは、自分の言葉が不安な気持ちを増強させてしまうのではないかと思います、不安になることがあります。今後は児、両親との関わりの中で、経験を大切に、知識を深め、自信を持って看護が行えるようにしていきたいと思います。



新年に向けての抱負

2病棟 梶原 優里

2病棟GCU(新生児集中治療室)に配属になり、9ヶ月が経ち、職場の雰囲気にも慣れ、様々な援助においても出来る事が増えてきました。この9ヶ月は、新生児の特徴や早産児の特徴、入院される児の疾患について学び、日々の業務や技術を覚えるのに精一杯で、あっという間に過ぎてしまいました。その中で、GCUでの看護は授乳や沐浴などの生活援助や処置などだけではなく、光や音の環境の調整やポジショニングなど、児が落ち着いて過ごす事が出来、成長発達を促すような環境を整える事が大切であるということを知りました。また今後は育児指導など、入院される児の家族との関わりについても先輩を見て学び、児のみでなく家族の支えにもなれるような看護が出来るよう頑張っていきたいです。



9ヶ月間を振り返って

3病棟 筒井 理沙

私が3病棟で看護師として仕事を始めてから、日々の業務や病棟に慣れることに精一杯な、あっという間の9ヶ月でした。学生の頃と比べると1つ1つの看護に「看護師」としての責任が伴うため、緊張の毎日でした。そんな日々の中で、患者さんにどのように援助したらよいか分からず、自分の看護技術、知識の未熟さに悩むこともありましたが、しかし、プリセプターをはじめとする先輩方の手厚い指導を頂き、少しずつ仕事に慣れ、日々の学習の中でたくさんの看護技術を身につけることができてきました。

患者さんからの感謝の言葉や笑顔に私自身が励まされ、看護師になって本当によかったと感じています。今後は、患者さん一人ひとりの個性に合わせた看護が提供できるように学びを深め、日々成長していきたいです。



9ヶ月間を振り返って

3病棟 山田 佳代

看護師として4月に3病棟(整形外科病棟)に配属となり、9ヶ月が経とうとしています。病棟の環境に慣れることや業務を覚える事に精一杯でした。振り返ると、なかなかうまく出来ない自分が嫌になり、落ち込む日もありました。しかし、患者さんの笑顔や、感謝の言葉によって自分自身励まされてきました。また、日々プリセプターをはじめとする先輩方に指導をして頂きながら、個々に合わせた看護提供を考えられるようになってきたと思います。

今後も、個々に合わせた看護提供が行えるよう知識を深め、看護技術を身につけられるよう、日々の学びを大切に頑張っていきたいです。



看護師としての9ヶ月を振り返って

4病棟 小林 美喜

看護師として働き始めて9ヶ月が経過しました。私が配属になった4病棟は内科・外科・消化器科・小児科の混合病棟のため迅速な判断力や対応、多様な疾患に対する知識が求められる病棟です。初めの頃は、病棟の動きについていけず、戸惑ってしまう事が多々ありました。しかし、プリセプターをはじめとする病棟の先輩方が丁寧に指導して下さったり、同期の協力により今日までとても充実して働く事が出来ました。また、先輩方が患者さんの個性に合わせたケアを実践し、コメディカルの方と退院後の生活へのサポートを行っている姿を見て、私も患者さんの個性を踏まえながら退院されても安心して生活が出来るようサポートをすることが出来る看護師になりたいという新たな目標をもつことが出来ました。



新人看護師として学んだこと

6病棟 井出 麻葵

新人看護師として、国立病院機構甲府病院に就職して9ヶ月が過ぎ、就職し始めた4月は学生気分が抜け切れなかったため、自分が病棟で何をすべきかわからず、仕事についていくのが精一杯の毎日を過ごしていました。9ヶ月経った今は、病棟の中で色々な経験をする事ができ、仕事をしていく上で一つ一つ責任を持って行っていくことの大切さを学んでいくことが出来ました。看護実践でも患者さんの生命にかかわるため、自分が行う看護に対しても責任を持てるようになってきました。来年には、新たな後輩を迎えます。今度は自分が先輩という立場になるので、自分のやるべきことを把握していき、教えていくことができるように頑張ります。



新年へ向けての抱負

7病棟 諏訪部 清

早いもので就職して9か月余りが過ぎようとしています。最近、少しずつですが仕事の事も患者さんの事もわかるようになってきました。その反面、看護という仕事の責任の重さを実感するようになりました。先輩看護師からは、明確な根拠と理論に基づいた看護を提供するのがプロであるということを知りました。患者さんとのコミュニケーションをはじめ、看護技術やチームの連携など多くのことを丁寧に教えていただいています。今後は教わるだけではなく、自分でも考える習慣をつけていきたいと思

います。人工呼吸器を装着している患者さんの多い病棟です。人工呼吸器についての理解をもっと深め、患者さんの安全を守ることに努力していきたいと思

います。新年へ向けての抱負として、自己学習に励み看護の基礎を身につけること、そして患者さん一人ひとりを理解し患者さんの安全・安楽な楽しい生活を守れるよう努力していきたいと思っています。



9ヶ月を振り返って

8病棟 田邊 綾乃

甲府病院で看護師として働き始めてから、早くも9ヶ月が経過しようとしています。最初は戸惑いも大きかったのですが、重症心身障害児(者)の看護が出来るようになって来たのは、プリセプターの方や周囲の先輩方が親身なご指導を下さったお陰だと感じています。また、患者さんと関わる中で、コミュニケーションの取り方や表情の違いが理解出来るようになってくると共に、患者さんの私への反応が4月に比べ顕著に変化していることで、9ヶ月という月日が経ったことをより深く実感しています。

そして、目を重ねるにつれ求められる技術もまた増えてきました。それにより自分の技術不足を痛感することが多々あり、復習することの大切さを改めて知りました。そのため看護技術と知識をしっかりと身につけると共に、自分から積極的に学ぶ機会を探していこうと思っています。

もうすぐ一年が経過しようとしています。新年に向けて今年学んだことを復習し、来年にはより丁寧なケアを、より多く患者さんに提供できるよう精進していきたいです。

医療安全管理室より

「日本の医療政策を憂う」

医療安全管理室長 久富 幹則



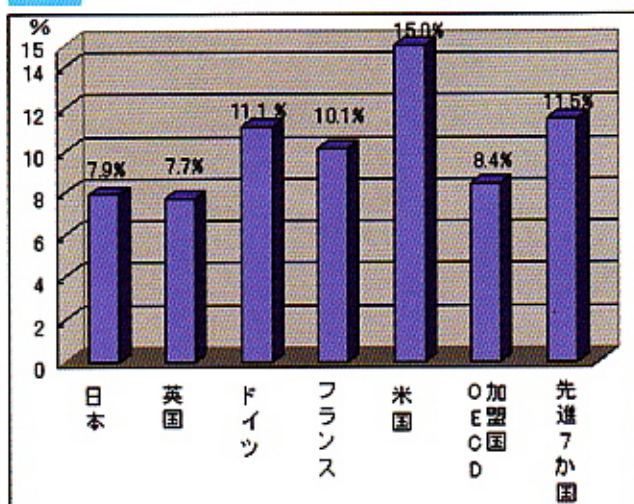
2000年にWHOは日本の医療を「世界一」と賞賛しました。世界一の平均寿命、世界一の乳児死亡率の低さなどが評価された結果であります。

しかし現実の医療現場を見てみますと、決して喜んでいられないのが実情です。「3時間待ちの3分診療」と言われている待ち時間の長さは相変わらずですし、救急医療は全国的に医師不足のため崩壊の一步手前、特に地方での医師不足は絶望的で改善の見通しは全くありません。どうみても「世界一」には見えません。なぜこうなったのか？答えは明白です。日本が医療にかけるお金を抑制してきたからであります。世界有数の「政府が医療に金を使わない国」になっているからです。

国も地方も財政赤字で大変と言っていますが、いったい何に使っているのでしょうか？日本の年間総医療費が30兆円を超えた、さらに財政赤字で大変だという人もおりますが、日本のGDPに占める保健医療支出は先進7カ国(G7)の中で最も低い国であり、最も世界一安上がりの医療を提供している国であります。(図1)ちなみにパチンコ業界も約30兆円ですし、公共事業にいたっては国、地方を合わせれば約50兆円であります。

今後も医療はさらに高度化していきます。医療を安全・安心に遂行するためには、多くの人とお金が必要です。無駄な道路や狭い日本にたくさんの空港を作るくらいなら、国民生活の根幹である医療・福祉をもっと大切にす

図1 先進国の医療費(対GDP比)の国際比較



(OECD health Data, 2005から)

職 場 紹 介

「療育指導室」

療育指導室長 渡辺 俊武

療育指導室は、重症心身障害児（者）の方々に対する福祉の支援と健全育成の立場から、児童福祉法による職員として、児童指導員と保育士が配置されています。職員は、療育指導室長、主任児童指導員、主任保育士、児童指導員、保育士4名（通園ひまわり担当保育士1名含む）からなる8名です。

私たち療育指導室は、医療チームの一員として、他部門との連携を図りながら、「生きる」ことへの『共感』が、利用者の「人生を大切にすること」に繋がるという立場から、一人ひとりの個性を大切にしながら成長・発達を目指した取り組みを行い、利用者の生活や人生を、より豊かにするよう働きかけています。

具体的には、個別指導、小集団活動（音楽・ムーブメント）、行事（季節行事・社会見学・誕生会）等を実施しております。

また、利用者の生活が円滑に行われるように、ご家族との関係を深め、関係する機関（児童相談所・福祉事務所・市町村・支援学校）等との連絡調整や福祉制度についての相談に応じている他、ボランティアや見学者、実習生の受け入れ等も行っております。

療育指導室は、これからも、障害者自立支援法の下、契約・措置入院の利用者に、いかに生き生きと心豊かな生活、適切なサービスが提供できるか、「生きる」から「より良く生きる」ための支援をより一層努めて参ります。

最後に、利用者の行事等が楽しく、且つ、安全に実施できるのは、病院をあげての他部門のご協力と、小児科医師の先生方のご協力の賜と感謝しております。

今後とも利用者のためにご協力を宜しくお願いいたします。

※重症心身障害児（者）・重症心身障害病棟については当院のホームページをご覧ください。



当院ホームページ
「重症心身障害児（者）医療について」
<http://www.kofu-hospital.jp/bumon/juushou.html>

療育指導室スタッフ
(上段右から二番目が筆者)



アラカルト

「関節鏡（かんせつきょう）について」

外科系診療部長 萩野 哲男

関節鏡（かんせつきょう、Arthroscopy）は胃カメラと同じようにテレビモニターに映し出された画像で関節の中を観察することができる関節用の内視鏡です。小さな皮膚の切開のみで手術ができることが利点で、体に優しい器械です。

その歴史は古く、1918年東京大学の高木憲次教授が当時の膀胱鏡を用いて世界で初めて屍体の膝関節の中を観察したのが始まりです。高木教授は関節鏡の開発と臨床応用に必要な基礎的研究を続け、それは渡辺正毅博士に引き継がれました。渡辺博士は関節鏡の改良を重ね、1959年に臨床的に実用可能な渡辺21号関節鏡を完成させ、この関節鏡を用いて1962年に世界で最初の内視鏡による半月板（はんげつばん）の切除術が行われました。日本の関節鏡による手術は常に世界をリードしながら進んできた歴史があり、日本発の世界に誇れる医療技術であります。

実際の膝関節の内視鏡手術では、膝の膝蓋骨（おさら）の下の左右を7mm程度切開



膝の内視鏡（直径約5mmの金属製の筒からなる）

して穴をあけ、その穴から関節鏡を挿入します。テレビモニターの画像を見ながら、関節の中の外傷（ケガ）、病気を観察し、診断することができます。もうひとつの穴から特殊な器具（ハサミや電気メスなど）を挿入して、痛んだ部分を切除したり、縫い合わせるなどの治療も可能です。現在では様々な手術手技が開発され、十字靭帯（じゅうじじんたい）の再建手術など膝の多くの手術は関節鏡を用いて行うことが多くなっています。また近年は肩や股関節など膝以外の関節にも利用され

るようになってきています。

当院においては2007年にスポーツ・膝疾患治療センターを開設以来、1000例以上の関節鏡手術を経験し、最近では膝の内視鏡手術が年間

400件を超え、靭帯再建術や半月板手術など、ほぼ毎日内視鏡手術を行っています。また2010年には手術室に先進

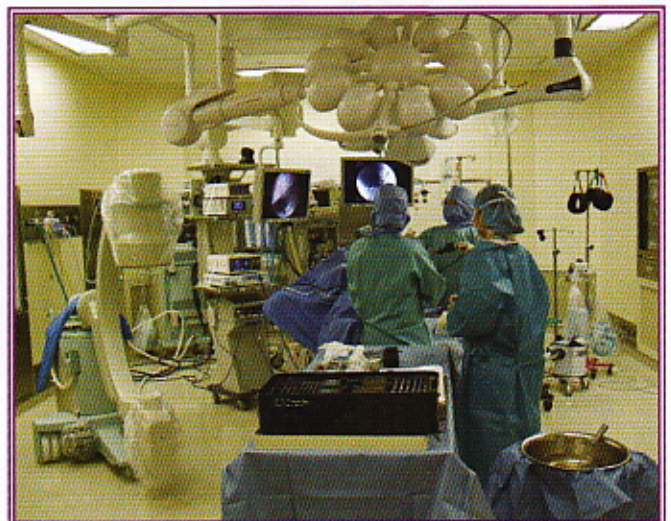


関節鏡手術を行う筆者（左から一番目）

的な高機能鏡視下手術システムを採用し、ハイビジョン関節鏡での高画質画像による安全な手術操作が可能となっています。

関節鏡のシステムや技術は将来にわたり発展していくことが予想されます。今後も最先端の診断、治療が提供できるようスキルアップや研究に努めていきたいと考えています。

参考文献 守屋秀繁：関節鏡の歴史、第21回関節鏡セミナーテキスト 2003



当院が導入した高機能鏡視下手術システム（Smith & Nephew's Digital OR）による膝の靭帯（じんたい）再建手術

お 國 自 慢

研究検査科 細菌血清主任 唐沢 秀樹

私は検査科に勤務する唐沢秀樹と申します。ふるさとの松本市を紹介します。
松本市は、長野県のほぼ中央に位置しています。平安時代には信濃国府がこの地に置かれ、また、江戸時代は松本藩の城下町として栄えました。

メイン観光スポットは「国宝 松本城」です。文禄時代（1594）に建てられた天守閣は五重六階で、四百余年の時を経ても戦国時代そのままの天守が保存される日本最古の城です。北アルプスを背景に凛とした姿は、四季ごとに変化し多くの市民に愛されています。秋のイベントは、ライトアップされた本丸公園での雅楽演奏とお茶席の「月見の宴」。松本城鉄砲隊を中心に火縄銃の演武が行われる「古式砲術演武」。城内での菊花展、市街地での武者行列が繰り広げられる「お城まつり」があります。

車で一時間、ドライブ気分でお立ち寄りください。

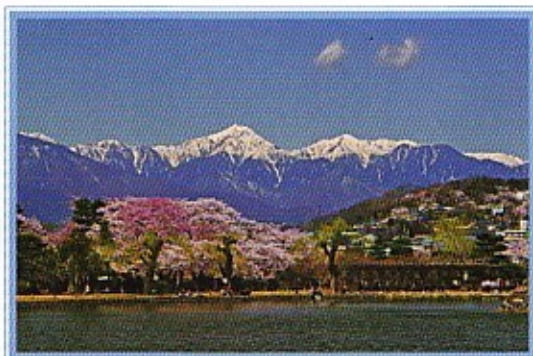


松本城天守閣

国宝松本城菊花展



古式銃術演武



松本城から望む
北アルプス

作品募集

本誌「てんじん」では、読者の皆様より川柳・絵画・写真を募集しています。

★宛先は 〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35 独立行政法人国立病院機構 甲府病院
管理課 庶務係 山田 (e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp) まで宜しくお願いいたします。

お知らせ

防災訓練



去る10月20日、当院では病院あげての「防災訓練」を行いました。

訓練では、災害を想定し、模擬患者の搬送などを行う「避難訓練」、



さらには、消防署の協力のもと、消火器や消火栓を実際に操作する「消火訓練」を行い、災害への備えを万全のものとなりました。



11月23日、紅葉舞う朝日通りにて「えびす講まつり」が行われ、当院も参加いたしました。

当院のブースでは、当院におけるさまざ

えびす講まつり

まな取り組みのパネル展示のほか、手洗い講習のコーナーが設けられ、道行く人たちが正しい手洗いのやり方について学んでいきました。



新任医師の紹介

10月1日付にて、当院小児科に高橋 和也（たかはし かずや）医師が着任いたしました。

どうぞよろしくお願いたします。



氏 名：高橋 和也（たかはし かずや）

専門分野：小児科一般・小児血液・腫瘍

出身大学：山梨大学（H13卒）大学院（H17修）

メッセージ：患者さんに常に親切であることを心がけたいと思います。よろしくお願いたします。

平成22年度一日平均患者数

入院

※11月分及び年間累計は11月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		99.9	91.6	89.0	94.5	105.3	101.4	87.4	96.4					95.7
重心		121.1	120.5	121.5	122.5	122.8	120.9	118.8	118.3					120.8
計		220.9	212.2	210.5	217.1	228.1	222.3	206.2	214.7					216.5

外来

※11月分及び年間累計は11月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	257.8	273.8	252.9	252.8	252.4	261.9	255.0	261.3					258.1

外来医師担当表

平成22年12月1日現在

		月	火	水	木	金	
一階 診察室	内科	1	渡 邊	10時~ 渡邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
		3	川 口	循環器科 佐野		中 尾	太 田
		4	循環器科 薬袋	古 屋	古 屋	循環器科 薬袋	循環器科 薬袋
		5					
	特殊外来 午後3時~			渡 邊			
	外科	1	鈴 木	牧	角 田	鈴 木	牧
		2	浅 川			乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木
	消化器科	1		稲 岡	稲 岡		
		2	澤 田	澤 田	澤 田		澤 田
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野	
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀	
	3						
二階 診察室	二階検査室	内 視 鏡	稲 岡	大学医師	大学医師	澤 田	浅 川
		工 コ ー	午前	大学医師		腹部 検査 科 心臓 薬 袋	腹部 検査 科
		午後				心 臓 薬 袋	
	小 児 科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富
		専門外来1 (午後)	神 経 畑	神 経 中村	神 経 神谷	第1・3週 小野	代 謝 内田
		専門外来2 (午後)	7:0-7:17 久富	7:0-7:17 久富			
	脳神経外科(2階旧泌尿器科外来)		長 沼		長 沼	長 沼	長 沼
	泌 尿 器 科			大学医師 (予約のみ)			
	産 婦 人 科	1	滝 澤	雨 宮	高 木	雨 宮	滝 澤
		2	雨 宮	高 木	第1・3週 雨宮 第2・4・5週 滝澤	滝 澤	高 木
3		妊婦 助産師外来			妊婦 助産師外来		
眼 科		予約のみ 10時迄	地 場	地 場	地 場	地 場	
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎		

●受付時間 初診/午前8時30分~午前11時00分 再診/午前8時20分~午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)

●予防接種(小児科) 毎週木曜日(完全予約制)

●乳児健診 毎週 火・金曜日(完全予約制)

●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

●人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日午後

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。近親者に肝炎の方がいらっしゃるなど自分も肝炎にかかっているのでは、とご心配な方、健康診断で肝機能障害を指摘された方などは受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知症かな、と思ったら、受診されることをお勧めします。

◇平成23年度 看護職員採用について◇

- ・平成23年度の看護師、助産師採用の受付を随時行っています。
- ・現在看護学校等で勉強中の方、既に免許をお持ちの方も下記連絡先までご連絡下さい。

連絡先 国立病院機構甲府病院 看護部
副看護部長 白川 由紀子
TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597

編集後記

てんじん第38号の発行も無事発行することができました。社会情勢の移り変わり共に病院の取り組むべき課題も移り変わります。

今後も地域の皆様に愛される病院を目指し編集部一同邁進いたします。

1年間ありがとうございました。

来年が皆様の良い1年であることをお祈りいたします。